

ナンバリング 科目名	データセキュリティ特論		担当者職 氏名	単位数 0単位
授業概要とテーマ	<p>本科目は、データセキュリティに関し、社会の仕組みと技術の両面から学習する。</p> <p>1) 著作権保護 2) プライバシ保護 3) ブロックチェーン</p>			
到達目標	データセキュリティに関する社会の仕組みと技術を学び、将来のデータ活用の課題と解決方向について考察する力を付ける。			
授業計画 (主題/内容)	1	データセキュリティの必要性と全体構図	データセキュリティの侵害事例からデータセキュリティの必要性について学ぶ	
	2	著作権保護：社会の仕組み	著作権保護の必要性と法的背景について学ぶ	
	3	著作権保護：技術と実際	B-CASを例にして、著作権保護の技術とシステムを学ぶ	
	4	著作権保護：まとめと議論	著作権保護のエコシステムを学び、議論する	
	5	プライバシー保護：個人情報保護法	個人情報とプライバシーの違い、個人の情報の活用と保護、改正個人情報法やGDPRなど、プライバシー保護に関する社会動向について学ぶ	
	6	プライバシー保護：利用規約	プライバシーポリシーと利用規約について演習を交えて学ぶ	
	7	プライバシー保護：匿名加工	個人特定情報を除去する匿名化技術について学ぶ	
	8	プライバシー保護：秘密計算	暗号化したままデータ分析を可能とする秘密計算技術を学ぶ	
	9	プライバシー保護：データの活用と情報銀行	プライバシーを保護しつつデータを活用する取組みの事例を学ぶ	
	10	ブロックチェーン：基礎技術	取引データを保護するブロックチェーンの基礎技術について学ぶ	
	11	ブロックチェーン：応用	ブロックチェーンの応用事例について学ぶ	
	12	ブロックチェーン：課題	ブロックチェーンの課題と、その解決に向けての取り組みについて学ぶ	
	13	データ活用の課題と解決議論1	論文を輪講して理解を深めるとともに、内容について議論する。	
	14	データ活用の課題と解決議論2	論文を輪講して理解を深めるとともに、内容について議論する。	
	15	データ活用の課題と解決議論3	論文を輪講して理解を深めるとともに、内容について議論する。	
	16	定期試験は実施しない	定期試験は実施しない。レポート等により評価する。	
成績評価の基準	A・・・80～100点 B・・・70～79点 C・・・60～69点 D・・・59点以下	成績評価の方法	授業態度（出席や議論への参加など）と最終レポートを総合的に考慮して評価する	
テキスト	特に定めない			
参考文献	授業内で適宜紹介する			
科目のキーワード	データ利活用、著作権保護、プライバシー保護、個人情報保護、ブロックチェーン			
授業の特徴	講義と、論文調査と議論を組み合わせる			
関連科目	著作権管理技術とプライバシー保護技術			
履修上の注意等 (履修条件等)				